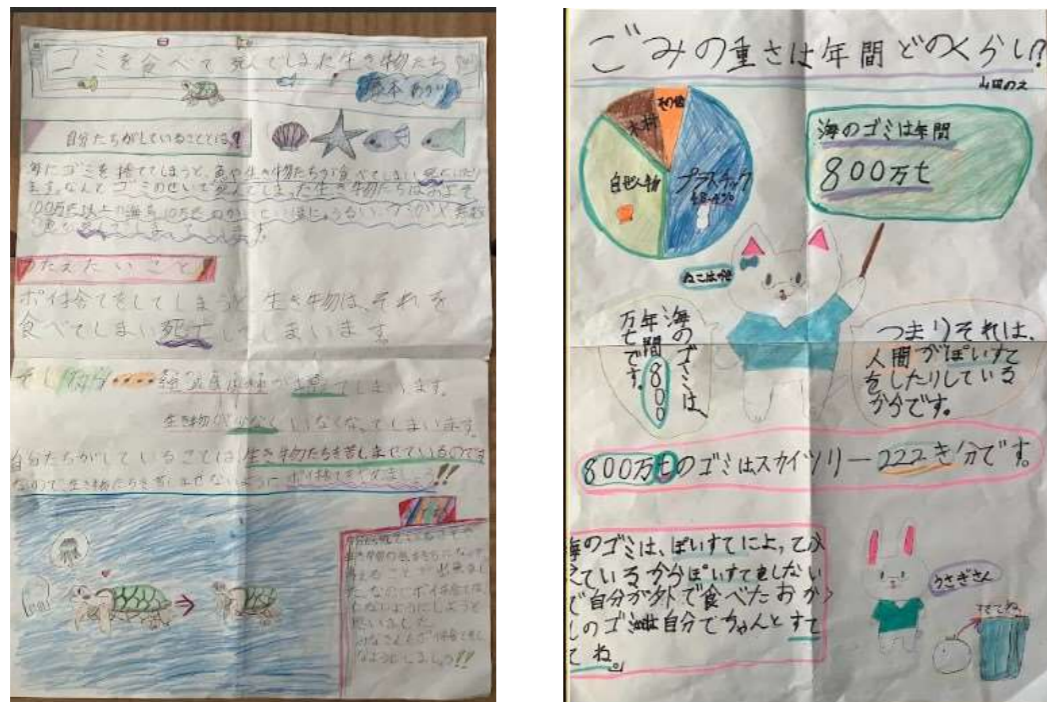


取組テーマ	取組目標	具体的な活動内容	担当者	活動主体	取り組んだこと、その実績	1年を振り返って	
身近な環境問題について知り、自分でできる事をやってみる。	私たちにできるSDGs ②飢餓をゼロに ⑦エネルギーをみんなに、そしてクリーンに ⑪住み続けられる街づくり ⑭海の豊かさを守ろう ⑮緑の豊かさを守ろう	1	SDGs:②と⑮ 畑づくりや野菜の収穫に挑戦する	仲よし級担任、委員会担当	仲よし級・栽培委員会	1、栽培委員会では、野菜や花を育てた。収穫した野菜を給食場で調理してもらい、全校で味わうことができた。 ・仲よし級では、季節ごとの野菜を育てた。大根を収穫して切り干し大根や大根餅づくりをし、苦手だった大根を食べることができた。今年度は教員も野菜づくりに挑戦し、野菜作りのノウハウを学ぶことができた。	【取組の評価】 ■達成できた □ほぼ達成した □達成できなかった 【理由】 昨年度から取り組んできている活動を今年度も引き継いで行うことができた。また、一つの活動に対して、少しずつ関わる人数が増えてきている。 【今後の課題】 SDGsへの活動に興味や関心を持つ児童を増やし、学校では何ができるのかを考え、アイデアを出し合っていきたい。また、活動に関わる人(職員や保護者)を広げ、多方面からのアプローチができるようになれば良いと考えている。
		2	SDGs:②と⑮ 一人一鉢栽培の実施	仲よし級担任	仲よし級	2、一人一鉢で育てた野菜を家に持ち帰り、家庭で調理してもらった。親子で野菜作りと収穫を楽しむ機会を作ることができた。	
		3	SDGs:⑦と⑭ 海岸を綺麗にして、環境問題に取り組む。 「ビーチクリーンに挑戦」年2回 「ポスターでの呼びかけ」	3年生担任	3年生	3、ビーチクリーンをして、ゴミの多さに驚き、このままではいけないと自分たちで海の環境問題について調べたり、ポスターで呼びかけたりする取り組みができた。	
		4	ビオトープを綺麗にして、自然の豊かさを守る	委員会担当	カエル池委員会	4、委員会活動でビオトープ(通称 カエル池)清掃を行うことができた。	
		5	SDGs:⑦と⑮ 「短くなった鉛筆回収活動」に参加する 「ペットボトルキャップの回収」に取り組む	各学年担任	SDGs委員会・全校児童	5、SDGs委員会を中心にゴルフ場と連携して「短くなった鉛筆回収活動」に取り組んだり、「ペットボトルキャップの回収」に取り組んだ。委員会の児童らが放送で呼びかけたり、各クラスをまわって呼びかけたりした。	
		6	SDGs:⑦と⑪ 「落ち葉拾い」	委員会担当	環境委員会	6、委員会で落ち葉拾いに取り組むことができた。	
		7	SDGs:⑦と⑪ 「節水・節電の呼びかけ」	委員会担当	環境委員会	7、委員会で節水・節電をポスターで呼びかけた。	

3年生の海の環境保護の取り組みの様子

ビーチクリーンをして、ゴミの多さに子どもたちは驚きました。これをきっかけに海の環境保全について自分たちで調べたいと子どもたちは関心を持ち始めました。自分たちにできることはなにかと考え、調べたことをポスターにすることにしました。実体験を伴った子どもたちの気づきや学びにはとても説得力があると感じました。



今年度のゴルフ場とSDGs委員会による鉛筆交換の様子

昨年度届けた鉛筆がさらに短くなってもう使えなくなるまで使ってもらっていること、渡した鉛筆がすでにもうなくなるほど使ってもらっていることをゴルフ場の方から聞くことができました。これまで使われていたペグシルの代わりに浜須賀小学校で集めた鉛筆が使われ、それが環境保護につながっていることを実感することができました。お礼に花が咲く鉛筆をもらい、環境保全への良いサイクルができてとても良い活動となっています。



● 学校長(推進責任者)によるコメント

【学校長名】

青柳 和富

【今後の方向性について】

「めざす浜小の子」育成に向けた取り組みとして「委員会活動」がある。委員会活動の一つとして「SDGs委員会」と「カエル池委員会」が昨年度立ち上がった。社会的にもSDGsが広く普及し、子どもたちにとってもSDGsという言葉が身近になり、地球環境について考えやすくなっている。子どもたちのアイデアを生かしながら委員会として何を発信し、学校全体として何ができるのかを考え、委員会活動をさらに充実させていきたい。各学年の総合的な学習の内容について学校全体で系統的に編成していく取り組みも有効であると考えている。

コロナ禍以降中断していた地域の方との交流も今年度から再開された。今後は学校だけでなく地域の方とも連携してSDGsに取り組んでいければと考えている。